

令和元年度（第2回）山鹿市総合教育会議議事録

日 時	令和元年 10 月 25 日（金）9 時 00 分～
場 所	山鹿市役所（4 階 402 会議室）
出席者	中嶋市長 堀田教育長 教育委員：栗川委員、野中委員、上田委員、野口委員 事 務 局：阿蘇品総務部長、瀬口教育部長、藤島首席教育審議員、藤本教育総務課長、新堀教育総務課課長補佐 説明補助員：濱武社会体育課長、栗原世界ハンドボール大会推進室長、徳永主任、青木主任主事、月足主任主事、小川主任主事
傍聴者	なし

- 1 開 会
- 2 議 題
女子ハンドボール世界選手権大会について
- 3 その他
 - (1) 次回開催について
 - (2) その他
- 4 閉 会

発言者	発 言 内 容
藤本教育総務課長	<p>令和元年度第2回山鹿市総合教育会議を開催します。</p> <p>まず、開会に際しまして、議題と会議の公開の可否について確認します。</p> <p>本日の議題は、本年度第1回会議で決定しておりましたとおり、「女子ハンドボール世界選手権大会について」となっております。</p> <p>この議題につきましては、非公開とすべき事由がないことから、本日の会議、及び議事録につきましては公開とします。</p> <p>また、会議の時間につきましては、市長の公務もございますので、午前10時には終了したいと思いますので、ご協力の程よろしくお願ひします。なお、本日の傍聴者の方はおられません。</p> <p>それでは、議題に入ります。中嶋市長に会議の議長をお願いします。</p>
中嶋市長	<p>本日は、堀田教育長をはじめ、教育委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中にご出席いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議では、1ヶ月に迫りました「ハンドボール世界大会」と、「その後のスポーツ振興策」について、有意義な意見交換ができればと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議題の『女子ハンドボール世界選手権大会』について、担当課より説明をお願いします。</p>

<p>栗原世界ハンドボール大会推進室長</p>	<p>それでは、「女子ハンドボール世界選手権大会」について説明します。</p> <p>資料の2ページをご覧ください。大会の基本理念は、「新しい熊本を世界に発信」です。1997年の男子世界選手権大会に続く、熊本での世界大会開催となります。</p> <p>世界選手権大会にふさわしい大会の実現に向けて、4つの柱を掲げております。1つ目に「誰もが楽しめる大会」。これは、観戦はもとより大会運営のあらゆる面で誰もが活躍し楽しめる大会を目指すものです。2点目に「女性が活躍する大会」。これは、女性の大会でもありますので、あらゆる面で女性が活躍し、女性特有のニーズに配慮した施設整備、大会運営を目指すものです。3点目に「環境に配慮した大会」。これは、公共交通機関の利用促進、物品のグリーン調達の推進など環境を尊重した大会運営を目指すものです。4点目「熊本らしさを感じる大会」。これは、熊本地震から復興し、アジアで唯一男女の世界選手権大会を開催する熊本の名を世界に情報発信し、県民一丸となって大会を盛り上げ、世代を超えて語り継ぎ、大きな誇りになる大会を目指すものです。以上、4つの柱として取り組んでおります。</p> <p>観戦者の目標は、5会場96試合で30万人を設定し、山鹿会場では、10試合で12,000人を目標としております。誘客計画については、後ほど説明いたします。</p> <p>3ページをご覧ください。大会の概要を記載しております。主催は国際ハンドボール連盟で、日本ハンドボール協会と2019女子ハンドボール世界選手権大会組織委員会が主管し、11月30日から12月15日まで、熊本市・八代市・山鹿市の5会場で開催されます。</p> <p>出場国は24か国で、6月21日の組み合わせ抽選会により、4つのグループに分けられ総当たり戦による予選ラウンドが行われます。日本はグループDで、パルクドーム熊本で試合を行います。</p> <p>山鹿市総合体育館には、グループBのデンマークを除く5か国が対戦します。グループBのオーストラリアを除く5か国は、世界選手権大会で優勝実績のある強豪国で上位3か国が進出できる決勝ラウンドを目指し、レベルの高い熱戦が期待できます。</p> <p>4ページからは、山鹿市実行委員会が昨年度から今度にかけて取り組んでおります広報の実績です。平成30年度は、告知看板、のぼり、カウントダウンボードなどを設置しております。今年度は、さくら湯周りの矢旗、総合体育館のガラス面の装飾、告知看板、横断幕を設置しております。6ページは、スクールバスのラッピングや各種イベント等でのPRの実績を記載しております。</p> <p>7ページからは「すべての試合を満員にし、大会を盛り上げるため」の取り組みとしての誘客計画です。上段の表は全体の入場者目標と観戦者目標です。観戦者目標30万人の内訳で、1997年の男子大会の1人当たり平均観戦試合数が1.6試合を参考に入場者数の目標を216,500人に設定してあります。</p> <p>会場ごとの観戦者目標は下段の左の表で、山鹿会場は12,000人です。30万人のうち4%になります。地域ごとの入場者目標が下段右の表で、山鹿会場は県内から8,000人、県外700人、海外400人の合計9,100人となっております。</p> <p>8ページをご覧ください。誘客計画にありました、学校観戦「1校1国運動」の取り組みです。県内の小中学校、高校が学校観戦を行います。山鹿会場には、11月30日を除き、学校観戦を予定しており、山鹿市内の全小中学校のほか、玉名・菊池・熊本市の小中学校から観戦があります。観戦者の総数は、目標の3,000人を上</p>
-------------------------	--

回る 3,286 人です。

それぞれの学校に期日と応援国の通知がされておりますので、応援国の文化・言語などを学習して応援していただくよう、改めて今月 29 日に開催される市内校長会議で依頼いたします。

9 ページは、山鹿会場で対戦する選手たちが自国開催の雰囲気を感じながら対戦できるよう、各校区で応援団を結成する「1 校区 1 国運動」の取り組みです。山鹿会場では 10 試合が行われますので、延べ 20 カ国が対戦することになります。ちょうど山鹿市は 20 校区ですので、全校区が 1 回応援に行くことになります。

今月 17 日に応援リーダーとなるスポーツ推進委員に応援の基本の説明会を実施し、今後は各校区でそれぞれ応援練習を行い、本番に望んでいただきます。学校観戦の応援とコラボしながら試合を盛り上げていただけるものと期待しております。

本日、チケットの販売状況について、10 月 24 日現在の山鹿会場の状況をまとめたものを配布しております。10 月 19 日の熊日 1 面にチケットの販売が厳しいという記事が掲載されました。インターネット等での一般販売のほか、山鹿市実行委員会構成団体や市内の企業・団体等にチケットの購入と観戦の依頼をしており、本日を申し込みの締め日としております。全ての企業・団体等から回答がありませんので、来週以降、さらにてこ入れし、チケットの販売促進に取り組みたいと考えております。これまでも、市内のイベントや校区民体育祭など市民に直接 PR しておりますが、反応が鈍いのが現状です。状況を申し上げますと、学校観戦のない 11 月 30 日と 12 月 1 日の 2 試合目、12 月 6 日の 2 試合目に残数が多い状況です。山鹿会場は満席で 1,200 席ですので、山鹿市内のみならず、周辺自治体にも観戦の依頼をしてみたいと考えております。

10 ページがおもてなしに関することです。山鹿市総合体育館の前の広場にグルメや体験、観光 PR コーナーなどのいわゆる「ファンゾーン」を大会期間中設置します。期間中は、飲食等の販売のほか、お茶や焼き栗の無料ふるまいも行います。また、山鹿らしさを演出するため、体育館前広場には「ミニ百華百彩」として竹明かりの設置や会場内エントランスには金灯籠の装飾を予定しています。

別に配布しております資料をご覧ください。左側にファンゾーンの内容を記載しております。右側には駐車場と会場までのアクセスを記載しております。駐車場は一般駐車場が第 1 駐車場から体育館前の第 4 駐車場を予定しております。なお、第 1・第 2 駐車場からは、無料のおもいやりシャトルバスを運行します。

公共交通機関（バス）をご利用の方のために、路線バスの時刻にあわせ、山鹿バスセンターから会場までの無料シャトルバスも運行します。

本日、小冊子を配布しております。ハンドボールや山鹿会場の出場国の紹介、応援の言語、ルール、ファンゾーン、アクセスなどを掲載した「山鹿会場観戦ガイドブック」を作成しました。今月 28 日の嘱託員使送で全世帯に配布いたします。

11 ページからは大会組織委員会と山鹿市実行委員会を目指す成果・効果でございます。まずは、全試合（山鹿会場は 10 試合）の円滑な運営を成功させることです。具体例としては、現在開催されている「ラグビーワールドカップ」を目標に県全体に大会の認知が向上し、県全体で盛り上がることを目指します。

2 点目が観戦者目標（山鹿会場 12,000 人）を達成することです。会場のみならず、街中も大いに賑わうことを目指します。

	<p>3点目が大会から得られる成果を「レガシー」として活用し、地域・経済・国際・文化交流等の拡大を図ることです。大会事務局が試算している経済波及効果の達成を目指し、リピーターの促進、地域・経済交流の促進、大会後のスポーツコンベンションの推進につなげてまいります。</p> <p>最後に12ページです。大会後の展開として、今回の大会に国内外から観戦者や関係者、メディアなど多くの方の来熊が予想されます。大会を通じた世界トップレベルの観戦や山鹿らしいおもてなしの実施を通じ、ハンドボール競技の普及はもとより、山鹿市の情報発信を行い、観光客等の増加を促進します。一方、市民においては、スポーツに対する関心の高まりを期待しています。</p> <p>こうした展開により、ハンドボールの競技人口の拡大やレベルアップによるスポーツ振興を進めている「ハンドボールの街やまが」の更なる推進、スポーツに対する関心の高まりに併せたスポーツ推進計画の策定によるスポーツ振興、スポーツ大会や合宿等のスポーツコンベンションの更なる推進を行うことで、①誰もが楽しめる生涯スポーツの推進、②スポーツを通じた経済振興にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。以上で説明を終わります。</p>
中嶋市長	ただ今、説明がありましたが、皆様のご意見をお願いします。
野口委員	<p>まずは、観戦者を増やさないことにはスタートできないと思います。色々と広報等の努力はされていると思いますが、地域応援団の「1校区1国運動」では、各校区の盛り上がり伝わってきません。お世話をする方は大変ですが、各地区から応援団を何名だしてくださいということでは広がっていきませんし、人と人の草の根で掘り起こしをやっていかなければ厳しいという気がします。</p> <p>実際にハンドボールの試合を見るとすごく迫力があって、感動すると思いますので、遠慮せずに地域応援団の部分を推進したらどうかという気がします。</p>
中嶋市長	ただ今、大会を盛り上げるための応援体制の推進についてご意見がありましたが、まずはこれに絞ってご意見があればお願いします
上田委員	各校区には国名が入った「のぼり旗」が立ててありますので、どの国を応援するのかは分かりますが、応援の仕方が分かりません。区長を通じて働きかけがしてあると思いますが、どういう内容でお願いしてあるのかを教えてください。
栗原世界ハンドボール大会推進室長	<p>「1校区1国運動」については、校区長を通じて各校区から応援リーダーを30人選出していただき、スポーツ推進委員と一緒にあって出場国を応援し、試合を盛り上げてほしいということをお願いをしております。</p> <p>ただ、委員おっしゃいますように、まだ、校区民への広がりができていないということも現状だと思います。先日も、八幡校区の体育祭に出向いてチケットを販売しましたが、1枚も売れませんでしたので、ハンドボールに対する関心の薄さも身にしみているところです。</p>
堀田教育長	広報車による宣伝はいつからですか。
新堀教育総務課課長補佐	教育委員会の公用車を2台、各市民センターの公用車を1台ずつ、計6台を使って、11月5日から11月29日までの期間、平日8:30から18:15まで広報巡回を行います。
堀田教育長	広報車や行政無線等を使って、市民への啓発にもっと力を入れないといけないと思います。みんな知っているようで分からないということもありますので、よ

	ろしくお願いします。
中嶋市長	30人の応援団が一つの固まりになっているので、逆に、その先に広がらないのかなという思いもします。各校区30人の応援団を揃えれば、それでノルマを達成したと思われるのかもしれませんが。そういうことではこの大会は失敗します。そこから先の校区民に広げることが大事で、最低でも校区から100人から200人は来てもらわなければならないということを目標にしておかないといけません。30人の応援団から口コミで広げる運動をしていただく、そういうお願いを早急にしなければいけません。実際に、人が動いてお願いしなければ進みません。とても大事なことですのでしっかり言います。
上田委員	市長が言われるとおりでと思います。区長や応援リーダーは知っているが、一般住民は何も知らないという状況があります。応援リーダーは大変だけれども、一人で何人か集めてくることも必要かなと思います。 例えば、年配者はチケットを買うことが億劫ですので、応援リーダーがチケット販売の働きかけをすれば買いやすく観戦にも行きやすいのかなと思います。
栗原世界ハンドボール大会推進室長	チケットに関しては、インターネットやコンビニで購入できるようになっていますが、やや面倒な部分もありますので、推進室では、電話申し込みによる取りまとめをやっていこうと思っています。さらに、今週末のイベント等にも申込書を持って行って取りまとめたいと思っています。そのようにきめ細やかにやっていきたいと思っています。
堀田教育長	この大会は、市を挙げて開催することですので、推進室は市職員の動員など遠慮なく申し出てください。
栗原世ハ推進室長	市職員にも購入を依頼していますが、まだまだ少ない状況です。
阿蘇品総務部長	市職員の購入目標数がでていません。校区や実行委員会、各団体にも個別の推進目標をだしていくというのが、この短期間では大事かなと思います。そういう形をとっていかないと、なかなか上滑りして非常に危機的な状況になるのではないかと考えております。
堀田教育長	みんなで知恵を絞っていくことが大事だと思います。
中嶋市長	まずはチケットを全部販売するというのが目標になりますので、総務部長からもありましたように、販売目標を立てて頼みにいかなければならないと思います。市職員にもノルマを課して販売するくらいに強くやってください。
濱武社会体育課長	まずは、大会を盛り上げるために、応援団を30人体制で結成してやっていこうということがありましたので、各校区にお願いをしたものであります。 チケットにつきましても、販売目標を立てて、各校区、市職員にもお願いをしていきたいと考えております。
中嶋市長	各校区30人で終わらないようにしなければいけません。有料でもしっかりお願いして回って、全市民に広げようという思いがないと大会が盛り上がりません。担当課だけではなくて全職員体制でいかなければならないと思います。
野中委員	運営側というのは動員がとても大事ですが、なぜ大事なのか、山鹿市にとってどうなのかというあたりを伝えていかなければならないと思います。特に嘱託員には「山鹿市にイベントが来たのでチケットを買ってください。売るように頑張

	<p>ってください。」だけでは、嘱託員の熱意がどこまでいくのかというのは気になるところです。嘱託員の日常活動の使命感からすると、ほんの一部になってしまうと思いますので、嘱託員の日常の責務とどう関わっているかということや、なぜ動員が必要なのか、なぜこのイベントが山鹿市にとって大切なのか、11ページに記載してあるようなところをしっかりと伝える必要があります。いわゆる経済の波及効果、山鹿市が将来的にどういう方向で進んでいくために、これはとても大事な場面なんだ。だからこそチケット・参加が大切になるんだというところを言って差し上げないと、何枚売ってくださいだけでは心に響いていかない感じを受けます。</p> <p>話が横にずれるかもしれませんが、今朝のテレビを見ていたら、熊本市がイベント民泊の制度を取り入れていて、外国人の応援の方が民家に宿泊しているというのがありました。山鹿市では今更間に合わないのかもしれませんが、そういう色んな場面からしていたんだというのは感じました。山鹿市では場所的に日帰りが多いのかもしれませんが、将来的な山鹿市の市政とどう関わっていくかということを、できれば嘱託員会議等でしっかりと伝わるように伝えていただくことが大事だと思ったところです。</p>
栗川委員	<p>市職員だけではとてもできないと思いますので、どこを動かすかということだと思います。例えば、青年会議所や商工会青年部を動かして、チケット販売だけではなくて、日豪協会、日韓協会、日仏協会に話をつけてもらって、どうにか広がっていかないと投掛けていくとか。ファンゾーンをどれだけお祭りにするとか、協会を通じて民族の踊りだとか色々なことを依頼したりとか、盛り上げていく体制を考える必要があると思います。どこの組織を動かしていくかということを相談いただければ私も協力します。</p>
濱武社会体育課長	<p>よろしくお願いします。</p>
中嶋市長	<p>ただ今、色々な団体をお願いをするという話がありましたが、ねりんピック開催の時には、婦人会が灯籠踊りの姿をして選手のお出迎えやお見送りをされました。大会関係者には、非常に喜んでいただきました。今回の世界ハンド大会でも、自分たちでおもてなしをしたいと考えておられるかもしれません。そういう方々を活用することも大事であると思います。色々な場面で協力をされる場所をお願いをする。そういった発想も大事なかなと思います。</p>
堀田教育長	<p>経済波及効果という話もできますが、商工観光課とのつながりはどうなっていますか。</p>
瀬口教育部長	<p>商工観光課には、おもてなし部会に入ってもらって連携をしています。ただ、これまで我々の動きがおとなしかったと反省をしています。これからは、もう少し活発な活動が見えるように派手に動きたいと思っています。</p>
上田委員	<p>ラグビーワールドカップがっておりますが、日本のおもてなしがすごく評価されています。選手の立場になってみると、観客席が全部埋まっているということが一番うれしい事だと思います。まずは席を埋めていかないと選手のやる気にも関わってくると思いますし、山鹿市の情報を世界に発信するいい機会だと思います。資料には観光客の増加と書いてありますが、山鹿市をどう発信していくか</p>

	<p>というところにしっかり力を入れてやっていただきたいと思います。</p> <p>また、子どもたちがそれぞれの国を応援しに行きますが、1回見ればすごく興奮すると思います。97年の男子ハンドボール世界大会では、子どもたちを学校毎に連れて行って応援しましたが、子どもたちが熱狂しました。その興奮度があればもう1回家族と一緒にいきたいと思う子どももいるのではないかと思います。子どもがそういう思いをするような応援の仕方とかを考えて、もう1回家族で行きたいという盛り上がりができたらいいと思いました。</p>
中嶋市長	<p>動員について多くの意見がでましたが、更にノルマ等を決めながら、それぞれにしっかりとお願いしていくということと、担当部局だけでは大変なことです。市役所全体で取組むようにしていただきたいと思います。</p> <p>それでは、他の面でありますか。</p>
野口委員	<p>おもてなしの部分で、山鹿らしさの演出ということでファンゾーンを作っていますが、飲食に山鹿らしさがあるのかなという気がします。ごく一般的なものが並んでいるようで、山鹿らしい地酒や菊鹿ワインがありませんし、市経済部で取組まれてきたことが少しつながってこないのかと寂しい気がします。</p>
青木世ハ推進室主任主事	<p>市内飲食店や食堂組合等に出展をお願いしましたが、時期的に忘年会等の時期でもあり、長期間にわたる出展は厳しいということでありました。また、地元の酒造メーカー等も検討しましたが、試合会場内へのビンや缶類の持ち込みは禁止されているため、出展は断念された経緯があります。ただ、アルコール等のカップ売りは可能ですので、再度お願いしているところでもあります。</p> <p>山鹿らしさという点では、食べ物の出展はありませんが、農業振興課と連携して山鹿茶や栗の無料振る舞いで最低限のおもてなしをしたいと考えているところです。</p>
野口委員	<p>せっかく世界から来られるので、山鹿らしさを売り込んでいただきたいと思います。</p>
中嶋市長	<p>再度、出展のお願いをしてください。</p> <p>他にありませんか。</p>
堀田教育長	<p>ファンゾーンでは、インターハイでやったような選手のお出迎えはしないのですか。</p>
青木世ハ推進室主任主事	<p>資料の10ページにイメージを載せております。インターハイのような会場全体が盛り上がるような仕掛けを考えておまして、正面左に飲食ブースを集めて、正面右におもてなしブースを検討しております。</p>
中嶋市長	<p>他にありませんか</p>
上田委員	<p>お土産販売所はありますか。</p>
青木世ハ推進室主任主事	<p>予定しておりません。</p>
上田委員	<p>ミニ灯籠などは紙で軽いので、外国にも持って帰れるということをアピールできるかなと思いました。</p>
中嶋市長	<p>まゆ玉人形もあると思いますが。</p>

青木世ハ推進室主任主事	体験コーナーでは、「まゆ玉人形作り」と「灯籠なりきり体験」を計画しています。
堀田教育長	経済的効果もありますので、売れるものを考えていただきたいと思います。
青木世ハ推進室主任主事	ミニ灯籠とまゆ玉人形の販売については検討します。
野口委員	来民うちわはいかがでしょう。
栗原世ハ推進室長	来民うちわについては、各試合のベストプレイヤーに送られることとなっております。
中嶋市長	時間も限られていますが、他にありませんか。
野口委員	ハンドボールの街やまがを推進していますので、是非、この大会を市民のハンドボールへの関心を高めて、それが子供たちのハンドボール競技につながっていくようにしなければならないと思います。オムロンハンドボールチームがやっていますが、中学高校とつながっていかないところもありますので、私たちもその辺をしっかり受け止めて考えていかなければならないと思います。
野中委員	奥出雲町が、ホッケーのまちづくりで学校や町のいたるところにコートを作っています。ハンドボールの街づくりというのは、以前から言葉はでてきましたが、どちらかというと大きなイベントが先に来てしまいましたので、これから私たちはハンドボールの街づくりで子どもたちに対してどういうことができるのかというところを、もっと突き詰めて考えていかなければならないと感じています。
上田委員	ラグビーワールドカップを見ると、子供たちの応援の仕方がとても印象深く、選手にも世界にも感動を与えています。世界ハンドでの学校の応援方法はどんなになっていますか。
堀田教育長	各学校の団長を決めて、その国の言葉を覚えたり国旗を持って応援します。昨年アジア大会を経験していますので、それと同じ形式になります。
中嶋市長	それでは、時間もありますので以上でよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
中嶋市長	続きまして、3、その他の次回開催について説明をお願いします。
藤本教育総務課長	次回の開催日程は、2月の定例教育委員会会議に合わせて行いたいと思います。議題につきましては、一つは本年度の組織見直しで、本市の地方創生への取組を新たな段階へ引き上げるとともに政策間の連携を強固なものとし、もって「ふるさと山鹿の未来づくり」の実現を図るため、経済部に「ふるさと未来総室」を設置しておりますので、「ふるさと未来総室」の取組状況を。また、前回会議で野口委員から「山鹿学」についての提案もありましたので、その取組状況について報告したいと思います。以上です。
中嶋市長	ただ今、提案がございました。何かご意見やご質問等はございませんか。
各委員	ありません。
中嶋市長	ただいまの提案でよろしいですか。
委員一同	はい。

中嶋市長	<p>本日は大変貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>今回は大事な大きな大会でありますので、事務局も大変かとは思いますが、オール山鹿でやるんだという意気込みを持って、市民に浸透するような形にみんなで持っていきたいと思えます。</p> <p>以上で、議事を終わります。ありがとうございました。</p>
藤本教育総務課長	<p>本日の会議の全日程は終了しました。</p> <p>これをもちまして、令和元年度第2回山鹿市総合教育会議を終了します。</p>